



高木逸夫

陶芸

1985年長野県小布施町奥信濃焼窯元で学ぶ。1989年兵庫県、滝翠美術館付属陶芸研究所専攻科卒業。1992年大分県清川村(当時)に移住。1997年大分市トキハ本店にて作品展。2005年新たな可能性を求め、竹田市に移動。2006年松本クラフトフェアに出品。2012年3月基目となる薪窯を自作築炉。2020年日本橋三越本展に出店。2023年大分県立美術館(OAM)でのグループ展に参加。

「リアルに『やきもの』を感じに来て下さい」



甲斐哲哉

美術、陶芸

大分県竹田市生まれ。1975年九州産業大学芸術学部卒業。東京にて、四十数年デザイン、版画、陶芸と技術を身につけて制作、発表を行い、2014年6月に地域おこし協力隊としてTSGに着任。2017年より長湯にて陶、版画、立体、平面の作品制作を行なっておりです。

「竹田の自然をテーマに野焼き等の原点回帰の作品を制作しています」



古賀正慎

竹細工

2018年大分県立竹工芸訓練センターへ入所。2年間竹細工についての知識や技術を学ぶ。2020年大分県竹田市へ移住。2021年竹林の整備をしながら、竹かごの製作を始める。現在、お米や野菜、穀物などの食料を自給しながら、日々の暮らしに添うような竹かごを製作しています。

「竹田に移住して5年目です。近くに湧水があり恵まれた環境です」



早瀬彫刻所

彫刻、水彩画

早瀬成恵/1948年栃木県生まれ。東京造形大学彫刻科卒。1977年法華経の信仰と共に仏像を作り始める。今は仏像の制作や修復などを生業としつつ、彫像や木工など幅広い素材を用いた作品作りをしています。早瀬あかね/1951年福岡県生まれ。東京造形大学絵画科卒。クレイやマチスのような伸びやかな線で、表情豊かに絵が描かれた絵画がすきです。自分の絵の中では画材にとらわれずにコンチや金箔、日本画の顔料などいろいろな素材を試して楽しんでいます。

「自然と共に平和を希い『つくる暮らしを創る』をテーマにして」



Oletronica

彫刻、絵画

「制作と生活」をテーマに大分県竹田市を拠点に活動を展開。作品制作のみならず、空間や企画のデザイン、スペースの主宰など活動は多岐に渡る。多種多様に变化する時代の隙間を埋めるため、表現の手法にとられず模索を続けている。代表作は「wood figure」風景への参道」等。2018年には佐賀でのレジデンスプロジェクト「side by side」を展開。2021年には宮野国際芸術ドリエンナーレ招待作家。2022年大分アジア彫刻展で大賞を受賞。地域や路上、建築といったより生活に近い場所での表現を行う。

「最近によく蚤の市や骨董屋に行って古物を収集しています」



尾込真貴子

朽ちゆくもの

大分県竹田市にてアトリエ兼ギャラリー「古蹟」を主催。

「私の教科書は自然の姿です。竹田の静寂な景色を大切に想います」

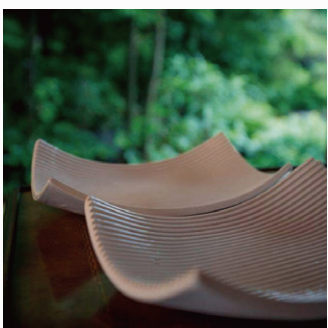


早瀬輪

楽器

2016年から竹田でギターとウクレレの製作、リペアを行っています。

「石ころ、山菜、鳥の羽根。そこら辺に落ちてるものを拾うのが幸福」

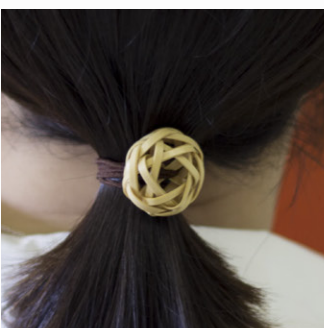


山田俊吾

陶芸

宮崎県出身。大分県立芸術文化短期大学を卒業。学生時代より作家活動をスタート。2011年より宮崎県立高千穂高等学校で高校美術の非常勤講師を勤めた後、2016年より大分県竹田市に移住し制作活動や子ども向けのワークショップを行う。磁器士の鋳込み制作でつくる波や流れをテーマにプレートやカップ、アクセサリーなどを制作。波皿&波板シリーズは2010年より手掛けている自身を代表する作品である。年に数回、県内外で展示会を行っている。

「丁寧な仕事を心掛けながら日々愉しく作陶に励んでいます」

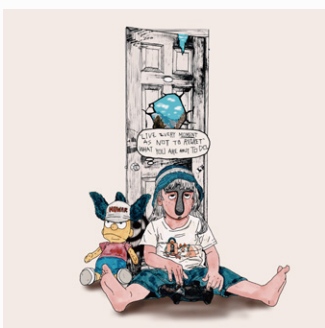


まじりりて

竹細工、布小物

竹を使ったオリジナルアイテムのデザインから販売まで行うオンラインショップです。竹田在住の美術家がディレクターをつとめ、和洋ほかどのようなシーンでもお使いいただけるよう目指しデザインされたアイテムを、手作業で制作しています。「たけたものづくり」限定で、まじりりてがセレクトした、竹のもの・布小物も紹介します。

「竹田から、野山のめぐみをあなたの暮らしへお届けします」



KUREINO

絵画

独特な世界観を軸に持ちながらも、表現の幅も広く様々なイラストを手掛ける。また、『流派 BEST KAPPER AWARDS 2017』にて第一位に輝いた睡奇をはじめとする、現代のシーンを担うアーティストたちのCDジャケットなどを手掛ける。2021年にはタワーレコード渋谷店で個展。2023年には「NIKE MAXED OUT TOUR」に「PAIR MAX 1 OG 86&」テーマに作品展示などを精力的に活動を行っている。

「竹田の魅力の一つである『人』をこのイベントで体感して下さい」



豊田豪史

木工

2016年竹田市に移住。木で器などを製作しています。

「近くにおいしいラーメン屋ができたらいいな」



てびち木工舎

木工

沖繩県在住時に自宅用の家具を作り、木工の面白さを知る。長野県の職業訓練校で木工を学ぶ。大分市の木工所に就職する。この間、家具手加工技能士を2級、1級と続けて取得。林業に転職。林業で生活費を得ながら、あいている時間に木工を再開します。



西村和宏

1986年生まれ、大分県国東市出身。神戸芸術工科大学を卒業後、東京でCG制作に従事。2011年に大分県に戻り、国東時間株式会社でデザイナーとして入社。在籍中に3Dプリンターに魅了され、独立を決定しオリジナルのプロダクト制作をスタート。現在は九州の真ん中、竹田市の山奥にもつくり工房「ヘソラボ」をオープンし、3Dプリンターやレーザーカッターなど、最新のテクノロジーを使ったオリジナルプロダクトの製造や販売をしています。

「竹田の山を一望できる自然豊かな片ヶ瀬に遊びに来てください」

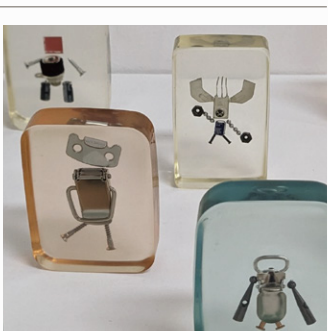


ぱたんこ屋

さをり織り

1982年大阪写真専門学校(最優秀賞受賞)。1989年滝翠美術館陶芸研究所卒業。インド・ネパールを旅する。1990年現在手織り研究所にて「さをり織り」を習う。奈良の川口由一氏に自然農学や、1992年大分県清川村に移住。1993年から毎年「下キハート展」トキハ手作り創作展」に出展。2005年大分県竹田市にてアトリエを開く。松本クラフトフェアに連続4年出展。2007年大分県国裂織展で奨励賞受賞。以後毎年各地で展示会開催。2007年から竹田の廃校・旧宮砥小学校の2階にて「宮砥工芸舎」開校。大阪で生まれた自由な織物「さをり織り」の普及に力を注ぐ。現在に至る。

「さをりの自由な織物世界を見て触って感じてほしいです」



前田亮二

ミクストメディア

2001年大分県立芸術文化短期大学美術専攻科(染色)修了、2002年〜新制作展(国立新美術館/東京)、2013年、2023年「EYE」(コモ/イタリ)、2023年回遊劇場ARTERIAL(NTT府内ビル別館/大分)。

「この穏やかな土地でのんびり制作しております」

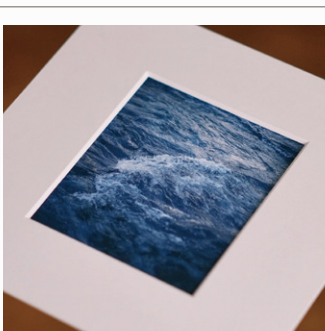


運天達也

木工

木のものをつくっています。

「毎日好きなことが出来て幸せです」



小島直人

写真

1996年大分県竹田市生まれ。2008年小学生の頃、父の影響でカメラを始める。2021年大分大学大学院を卒業後、フリーカメラマンとなる。竹田を拠点として活動しており、イベント、商品、ポスターなどの撮影を行なっている。また、TAKETA Channelの一人としても活動しており、「美しい竹田」をコンセプトにそれぞれ視点から竹田の日常を撮影、Instagramで発信している。2023年大分、福岡、竹田で写真展「棲家」シリーズを開催。

「最近P.S.5を買いました。5年ぶりにゲームにハマっています」

会場BGM=

古賀小由実(最新アルバム「nagi」より)

竹田市在住、音楽家。ピアノ、声、生活のすぐそばある気になる音と戯れながら、楽しく演奏、制作しています。

この美しい小さなまちの作り手から生み出される作品は、「たけた」のエネルギーを纏い日本全国、世界へと旅立っていきます。



飲食

ヒヨクド フード

日程 6月1日(土) 10時-17時
道の駅竹田のふもとで魅力溢れる
地元の農産物を加工品にする活動をしております。
出品 地元野菜を使用したお惣菜のカップデリ、
rautoのパンと焼き菓子。
@massan.hiyokudo (Instagram)

itonami kitchen フード

日程 6月2日(日) 11時-15時
湧水の多い竹田市入田にある、小さなカフェです。
出品 焼菓子、調味料や食品。
お弁当はご予約にて(数量限定)。
※5月1日よりインスタDMにて受付します。
@itonamikitchen (Instagram)

nageia coffee ドリンク

日程 6月1・2日(土日) 開催時間内は営業。
自家焙煎コーヒー豆と喫茶のお店。
自然豊かな竹田で暮らしに優しく添うコーヒーを
提供しています。
出品 コーヒー豆、ハンドドリップコーヒー、
水出しコーヒー等。
@nageiacoffee (Instagram)

催事

sasao% art class ワークショップ

「ゆるっと絵画教室」(作品制作相談受付)
赤ちゃんからお年寄りまでを対象にした
お絵描きワークショップ。
日程 6月1日(土) 14時-16時ごろ
参加費 500円
対象 どなたでも可 ※赤ちゃんは保護者付き添い
@iaosaks (Instagram)

旅するアマゴ ワークショップ

「たけたものづくりのグッズをつくろう」
本展覧会オリジナルグッズを
制作するワークショップ。
日程 6月2日(日) 参加費 未定
対象 どなたでも可
@travelersworks (Instagram)

主催 まちづくりたけた株式会社

共催 竹田市文化振興財団

協力 竹田市、たけたのつくりての皆さま

会場 竹田市総合文化ホールグランツたけた

問い合わせ先 まちづくりたけた株式会社

Tel: 0974-04-0175

Mail: machikaketa@taketa-agrew.jp

taketa-agrew.jp

竹田で

たけたのつくり

2024. 6/1(土)、2(日) グランツたけた キナーレ

〒878-0024 大分県竹田市大字玉来1-1

開館時間：6月1日(土) 10:00-17:00 / 6月2日(土) 10:00-16:00 (最終入館は閉館時間の30分前まで)

主催：まちづくりたけた株式会社 共催：竹田市文化振興財団

協力：竹田市、たけたのつくりてのみなさま

Photography: Naoto Kojima / Title Lettering: Tetsuya Kai

紡ぎ出される かたち



交通

竹田市総合文化ホールグランツたけた
住所 大分県竹田市大字玉来1-1
JR豊後竹田駅から徒歩20分、タクシー5分
バス利用 竹田市コミュニティバス・大野竹田バス
「グランツたけた」下車すぐ
本館駐車場(160台)ほか周辺の駐車場を
ご利用ください。
※駐車場に限りがありますので、
なるべく乗り合わせてご来場をお願いします。

山に守られ

水が湧き出る竹田市は、
人口約2万人が住む
自然豊かな土地。
ここには竹田で生まれ育ち、
あるいは魅せられて
移り住んだ、ものづくりに
励む人たちがいます。

公式Instagram
taketamonozukuri
最新の情報に加え、
町歩きスポットや竹田名物など公開中！

Photography: Taketa Channel